

21 長文読解

課題1 (1) ウは「ある政策をとって決められる部分とそうでない部分がある」、「言語はある程度は人間が手を加えることができる」などとあるので合致。アは「まったく自由に加工できるものでもない」ので誤り。イは本文中に述べていない。(2) 操作可能な例として「例えば、日本語の場合だと漢字の字体を改める」があげられている。アとウは、話題になったものであり、操作できるものではない。(3) アは「若者自身が、『日本語が乱れている』と考えている」とある。ウは「言語は常に変化する」ことに合致。イは、乱れている主体については述べていない。(4) アは「ずいぶん昔からされていた」に合致。イとウは話題にない。(5) 「今使われている日本語が未来永劫このままの状態を保つとは、さすがに誰も考えていない」とあることから考える。

課題2 (1) 「私は作品を書く場合には、一つ進歩した作品を書けば、必ず一つは前へ戻って退歩した作品を書いてみる習慣をとっている」とあるので「私」は合致する。「秋野孝道氏の禅の講話というのをふと見ていると、…真の向上とはいいいがたいという所に接し」とあるので、秋野氏も合致する。トルストイは、「進歩」や「退歩」を話題にしていない。(2) 「観察したことのために相手を変化してしまう」とあることからイは適切。アのように、作品の根幹になるとは述べていない。またウは、「観察をするとは有効な場合はある」とあるが限定的で、一般に観察が自然な姿を見るにあたって有効かどうかは断定していないので、適切とはいえない。(3) アは「私たちにしても作者の顔や過去を知っているときは、もうその作家の作物に対して殆ど大部分正確な批判は下せていない」とあり、正確な批判のためには、その作家と個人的な関わりがないことを条件にあげているので適切。イは、田舎にいるとは、世間の人々によく知られていないことの象徴であるが、それが条件とはされていないので、適切とはいえない。ウは、批判と文壇を動かす力があることとは、とくに関連性はない。(4) アの「他の作家への影響」については、話題にされていない。イのバルザックと身辺小説とは、別の話題であり、両者に特に関連性はない。ウは「私にとっての困難はやはり身辺小説だとは思えない」とあるので適切。(5) Aは「退歩こそ生き方の核心である」とは述べていない。Bは「大天才を昔から掘り起して来たところが、やはり書けない部分がそこにひそんでいる」とあるが、それが「その人の真実の性質」を指しているわけではない。Cは「田舎にいてまだ人に知られていない作者で、よく文壇を動かすことのあるとき」とあるので適切ではない。Dは「作品の上では、成功というような結構なものはないと思っている」とあるので適切。Eは話題にされていない。

22 志望理由 【記入アドバイス】

課題1 (1) あなたと志望業種との関連を考えてください。単なる思いつきや、あこがれだけでは説得力がありません。あなたが大学で専攻していること、主として研究していることなどに関連のある業種であれば納得されやすいものですが、そうでなければ、あなたのこれまでの体験など、その業種と具体的に結ぶことのできることをアピールする必要があります。また研究テーマと関連がある場合でも、その業界において、どんな分野にどのような力を発揮していきたいのか、なるべく具体的にイメージできるものに作り上げることが必要です。理由は「私が大学で主として研究したのは、風車の回転時の音をできるだけ小さくすることです。この技術を活かして、デジタルカメラ撮影時のモーター音を小さくし、小動物などを撮影する場合、よりタイミングよく、かつ繰り返しが可能なものにできます。この分野の仕事を通して、さまざまな研究観察の仕事、また環境問題に貢献したいと思います」などとまとめるとよいでしょう。(2) 志望理由のポイントになる項目です。しっかりした自己分析のもとに、自分の適性をよく見極めて書いてください。その前に、「営業」「研究」「開発」「経理」「販売」「仕入」などの仕事が、実際にはどのようなものか、詳しく調べる必要があります。単にイメージだけでなく、現実をよくリサーチすることが大切です。大学の先輩や家族知人などの社会人によく話を聞くことも効果的です。そのうえで、単に書類上という意識ではなく、実際の希望を書いてください。理由は、自分のスキルや得意なことと結びつけて説得力のあるものにするとよいでしょう。(3) どんな問題を解決したいか、そのために自分には何ができるのかを考えてください。たとえば、現在の全世界共通の課題として、環境問題、食糧問題、人口問題などがあげられます。その中の一つを取り上げて、根本的な原因はどこにあるか、一人一人がどんなことを心がけて生活するべきか、そして社会人として、どのような取り組みが要求されるのかを考えてみましょう。解決策は、たとえば環境問題を一挙にすべて好転させるという画期的なものを考える必要はありません。身近で、少し努力すればほんの少し好転する、という実現可能な範囲で十分です。そうしたことの積み重ねが大きなパワーになります。(4) 運転免許や英検など、一般的なものでもよいのですが、それ以上に、あなたの個性を表現できる資格や、公的資格でなくてもあなた自身が自己推薦できる特技などがあれば効果的です。ただし、あくまでも就職用書類であることを忘れてはいけません。この欄に限らずどの項目も、誠意を持って社会人にふさわしい回答をすることは絶対条件です。(5) モットーと、それにまつわる(それを裏付ける)エピソードによって構成するとよいでしょう。「自分の自慢話になってし